

学校運営協議会(全日制部会)議事録

校名	大阪府立佐野工科高等学校
(准)校長名	山本 好男

開催日時	令和 3年 2月 18日(木)15:30～17:00
開催場所	佐工会館1F
出席者(委員)	山田啓次会長、上野公義委員、 下荒神亜矢子委員、町谷雄二委員
出席者(学校)	山本校長、山崎(健)教頭、吉岡事務部長、瀧本、飯田、西口、小口、岩崎、川村、山口、水津、奥野、坂本、田中(亮)、森田、森栗、山崎(公)、金丸
傍聴者	なし
協議資料	令和2年度学校経営計画及び学校評価、令和3年度「学校経営計画及び学校評価」、令和2年度各分掌目標、令和2年度普通科・各系組織目標、令和元年度・令和2年度「地域産業連携重点型工科高校としての取り組み」、令和2年度第2回学校運営協議会(全日制部会)議事録
備考	

議題等(次第順)	
<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度「学校経営計画及び学校評価」の報告 ・令和3年度「学校経営計画及び学校評価」の説明 ・学校教育自己診断 ・各分掌・各科系の報告 ・佐野工科地域連携について 	
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
<p>○授業理解度について、工業科目の座学に関するアンケート結果の数値が低くなっている要因は何か。 【Ans】実感として普通科教員はICT機器を活用し、新たな取組が多くみられることで高い評価につながっているように感じる。他方、従来型の授業形態の多い工業科目の座学が相対的に低くなったのではないかと考えている。</p> <p>○この(上記)内容に関して保護者側の意見はいかがか。 ○工業の科目では覚えることが多く、子どもにとっては辛く楽しくないと感じるのかもしれないが、身にはついていると思う。そのおかげで資格試験にも合格しているので、アンケート評価とは矛盾する部分があるのかもしれない。</p> <p>○別件で要望として、プリント類が保護者に届きにくいという声があり、ここを何とかしていただければ、保護者側の理解協力がなくなるのではないかと。 ○休校期間の遅れを取り戻そうとしたスケジュールの調整や生徒の心のケアなども連携をもって尽力されたことがわかった。検定に関しては商工会議所でもコロナ感染防止対策のため、人数制限等で受けられなくなる場合もあったりするので、(佐野工科では)そのような逆境を乗り越え、頑張らせるなど資格取得の取組によく対応されたと思う。</p> <p>○生活指導部の懲戒件数の変化に伴い、以前と比較して生徒の様子は落ち着いてきているのか。 【Ans】1、2年生は入試の倍率が上がってきた学年でもあり、件数の減少につながっている。懲戒の内容も以前に多かった喫煙行為などより、SNSの不適切な使い方の件が増えている。</p> <p>○インターンシップ参加の生徒2名の状況を説明してほしい。 【Ans】コロナの影響で例年のように2年生の生徒全体を対象としたインターンシップは実施できなかった。この2名は、コミュニケーションに課題のある生徒であり、将来の進路選択時に社会に対応できるよう経験させるところに目的をおいて特別に抽出し、実施した。</p> <p>○今年度の就職状況について商工会議所の認識はどうか。 ○商工会議所としては中小企業との関連が強いのでそちらでの把握になるが、コロナ禍であっても中小企業は人手不足があり、資格を持つ即戦力を求めるので、工科高校は求人数維持ができていないのではないかと。 ○入試倍率についてはどのように予想できるか 【Ans】中学校の進学希望調査結果が発表されているが、今年度の入試の志願者は1倍ギリギリではないかと思われる。今年度旧9学区の中学卒業生は約300人減少しているのに対し、公立高校の募集定員は120名しか減っておらず、また新たな傾向として通信制高校への志願者数が増えていることも影響し、厳しい状況にある。さらに、今年度は合同で実施される進学説明会がコロナの影響ですべて中止となり、特色のある専門学校に興味を示してもらった機会が得られなかったことから、工科高校の志願倍率は9校すべてにおいて非常に厳しい状況にである。</p> <p>○各中学校に説明に行くような取組はあったのか。 【Ans】中学校への出前説明会の実施等を計画し、また、その送付先を学年主任宛てに行うなどの工夫を行った。ウェブを活用した広報活動においても、学校HPに挙げるブログなどは様々な大会やイベントの中止で提示する題材が減ったために十分に行うことができなかった。</p> <p>○昨年開催できなかったイベントの商工祭について、今年度は9月実施の方向で検討していくので次年度また参加を募りたい。 ○南海電鉄に提供された作品(革細工)については要望をうけて行ったのか。 【Ans】課題研究の授業での取り組みで、学校から何か役立てることはないかと提案し実現した。地域への貢献については、他にも1年生有志のチームが「地域とものづくり」をテーマに駅前店舗のリノベーション活動に参加した。また、1年生においては、オープンスクールの機会に、学校や系の特色をパネルを作成して展示し、中学校3年生に対して本校の1年生が説明する新たな取り組みも行った。</p> <p>○生徒会など生徒たちによる制度改革(校則など)の提案などはなかったのか。 【Ans】昨年度は制服の変更の際に、生徒会の意見を訊くことなどを行ったが、校則に関しては生徒側にアプローチはしていない。</p> <p>○保護者にプリント類が渡りにくい点の改善策に、ICTを活用することは検討できないか。 【Ans】メールマガジンを使うことも可能であるが、生徒を介さず保護者へ直接情報を送ることが高校生に対する正しい教育活動なのかという疑念がある。今後も生徒に対して指導を続けるとともに、ICTを活用し、配付した旨の情報のみを連絡をする等の方法も検討していきたい。</p> <p>○GIGAスクール構想の計画はどの程度進んでいるのか。 【Ans】令和3年の9月頃までに、生徒一人に1台の端末を貸与する予定。令和4年度までに実際の運用を決めていく見通しである。</p> <p>《まとめ》 『令和3年度「学校経営計画及び学校評価」』について、委員一致で承認がなされた。</p>	

次回の会議日程	
日時	令和3年 6月頃に開催予定のため、5月連休明けより日程調整。
会場	佐工会館1F